

Japanese Journal of Religious Studies

年次報告

マシュー・D・マクマレン

Matthew D. McMullen

本年、*Japanese Journal of Religious Studies* (JJRS) は創刊 50 周年を迎える。1974 年のリニューアル以来、古代宗教の遺跡建築から現代日本の宗教運動に至るまで、JJRS は広範囲に渡る 1,000 篇以上の学術論文を掲載してきた。その学問領域の幅広さと方法論の多彩さにより、本誌は日本宗教の研究をリードする学術誌となっている。

2023 年度刊行号 (vol. 50/1) も例外ではない。研究論文は 3 本であるが、公案修行における女性の身体性、第二次世界大戦下の日本の戦争遂行に対する仏教徒の組織的支援、鉄道等の近代技術が仏閣巡りの促進において果たした役割といった広範なテーマを取り上げている。また、今号には最新の出版物の書評も 2 本収録されている。詳細は、以下の目次を参照されたい。

2023 年度のオンライン登録数は若干減少したが、これは明らかに同年度の刊行が 1 号にとどまったためである。2023 年 4 月から 2024 年 3 月の DOI 検索の結果は 92,970 件で、前年度より約 1 万件減少した (DOI についての説明は、*Bulletin* 44 号の JJRS 年次報告を参照)。DOI アクセスにおいて、2023 年度でもっとも人気が高かったのは、川上光代「志摩地方の盆行事に見る精霊観」(“The View of Spirits as Seen in the Bon Observances of the Shima Region” in vol. 15/2-3) である。この人気はおそらく、盆儀礼に関する新たな研究を示唆するものであるか、あるいは講義のなかで取り上げられたのかもしれない。(編集者注：講義で本誌掲載論文を取り上げて、アクセス数の向上にご協力いただきたい。) 2023 年度最高の DOI アクセスを達成したことについて、考え得る理由を推測してみようではないか。JSTOR では、ダウンロード数が増加した。2023 年 4 月から 2024 年 3 月まで、JJRS 掲載論文は 101,882 回アクセスされたが、これは前年度より 1,100 回多い。エディンバラ大学は、JSTOR を経由した本誌掲載論文のダウンロード数をもっとも多い機関であった。

上記の数字には、南山宗教文化研究所のウェブサイト (<https://nirc.nanzan-u.ac.jp/journal/6>) から直接ダウンロードされた論文は含まれていない。ダウンロードされた論文数を確認することは難しいが、昨年度、JJRS のページは月平均約 9,000 回閲覧され、

研究所のウェブサイトでもっともアクセス数の多いページとなった。

大半の読者は JJRS を PDF フォーマットで手にしている。本誌は時代に先駆けて、すべてのコンテンツをオープンアクセス化し、オンラインで自由に入手できるようにした。とはいえ、実際には、本誌は紙媒体ジャーナルである。多くの読者に親しまれているデジタル版は、ペーパーバック版の複製である。紙媒体の JJRS は、Amazon のマーケットプレイスから、オンデマンド発注することができる。昨年度のグローバルな販売部数は、6 冊であった。南山は本誌のオンライン販売から収益を得ているわけではないが、編集者は表紙と紙面の作成に多大な時間と労力を費やしている。ご注文いただけると幸いである。

2024 年度は、JJRS にとって節目の年となる。現在、春号に向けて、ミイラ、隠者、観音ファン・コミュニティ、和学と国学、浄土の音楽などをテーマとする多数の掲載候補論文を準備している。また、当初は昨年秋に予定していた、さほど新しくない「新宗教」に関する未刊の特集号も完成させる予定である。最後は、本誌創刊 50 周年を記念する格別な特集号で年度を締めくくることが計画している。この記念すべき号が、JJRS 史上もっとも素晴らしい号となることを約束する。新刊や関連イベントに関するお知らせは、南山宗教文化研究所ウェブサイトをご覧ください。

(訳：末村正代)

VOLUME 50, NO. 1

2023

ARTICLES

- 1 On the Verge of Damnation and Buddhahood Motherhood, Female Corporeality, and Koan Exegesis
Marta Sanvido
- 49 Japanese Buddhist War Support and the *Kanchō* System
Jeff Schroeder
- 79 Opening the Curtains on Popular Practice *Kaichō* in the Meiji and Taisho Periods
Matthew Mitchell

REVIEWS

- 105 Timothy O. Benedict, *Spiritual Ends: Religion and the Heart of Dying in Japan*
Ioannis Gaitanidis
- 112 Paul Groner, *Precepts, Ordinations, and Practices in Medieval Japanese Tendai*
Thomas Newhall